

事務事業実績測定調書

10315020028	留守家庭児童会室維持管理事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	20000350	学校教育部放課後子ども課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち	
	取り組みの方向	50.保護者のさまざまなニーズに応じて、子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくりを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1966 (S41) 年度		～		
根拠法令等	枚方市立留守家庭児童会室条例、枚方市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	適切に整備することにより、入室児童が安全・安心かつ快適に生活できる状態				
事業概要	45か所に開設している枚方市立留守家庭児童会室について、老朽化に係る修繕、電化製品の修理、市有建築物定期点検等の委託、座卓・掃除機等備品の購入等、適切に維持管理を行い、児童会室の円滑な運営に資する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	対応件数／維持補修件数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	100	100	100		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	2.28	2.37	1.56
正職員数	2.00	2.00	1.36
非正規職員数(計)	0.28	0.37	0.20
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.28	0.37	0.20
■人件費総額(千円)	16,289	16,608	11,357
正職員人件費(換算額)	15,748	15,902	10,903
非正規職員人件費(計)	541	706	454
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	541	706	454
■直接経費(千円)	16,074	16,400	17,631
■事務事業の総計(千円)	32,363	33,008	28,988
国庫支出金	7,201	7,458	7,495
府支出金	7,201	7,458	7,495
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	17,961	18,092	13,998

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	職員による直接施工・業者委託等により、必要補修件数全ての対応を行った。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き、老朽化施設に係る修繕・電化製品の修理・市有建築物定期点検等の委託、座卓・掃除機等備品の購入等を行うことで児童会室の運営が円滑に行えるよう、施設の維持管理に取り組む。	

事務事業実績測定調査

10315020029	留守家庭児童会室運営事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	20000350	学校教育部放課後子ども課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち	
	取り組みの方向	50.保護者のさまざまなニーズに応じて、子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくりを進めます。	
	実行計画事業名	放課後児童対策事業(放課後の全児童対策事業の実施)	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1966 (S41) 年度		～		
根拠法令等	児童福祉法、枚方市立留守家庭児童会室条例、枚方市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	入室を希望する児童が全て入室できること。円滑な児童会室運営を通じて、児童が安全で快適な生活を過ごせ、その保護者が安心して預けることができる状態。				
事業概要	保護者の労働・病気等により、保育を必要とする小学1年生から6年生までの児童に、放課後に適切な遊び及び生活の場を提供し、もってその健全な育成を図ることを目的に、枚方市立留守家庭児童会室を45か所開設しており、各児童会室の定員は基準条例に基づき設定している。通常の申込期間である1月末までに定員を超える申込があった場合は、待機児童解消のため臨時定員を設定している。また、年間で7～9日程度、土曜日に臨時開室を実施している。平成23年度からは拠点方式で4か所において障害のある5・6年生を受入れていたが、平成30年度から全学年の受け入れを開始した。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	待機児童数(1月末時点)					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	人
目標(予測)	—	0	0	0		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	268.68	281.09	260.68
正職員数	6.20	6.25	5.65
非正規職員数(計)	262.48	274.84	255.03
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	152.00	157.00	150.00
非常勤職員数	51.00	55.00	35.00
臨時職員数	59.48	62.84	70.03
■人件費総額(千円)	871,830	895,311	870,758
正職員人件費(換算額)	48,819	49,694	45,296
非正規職員人件費(計)	823,011	845,617	825,462
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	608,760	633,495	623,400
非常勤職員人件費(実額)	92,184	82,979	59,400
臨時職員人件費(実額)	122,067	129,143	142,662
■直接経費(千円)	39,027	51,640	180,761
■事務事業の総計(千円)	910,857	946,951	1,051,519
国庫支出金	168,361	168,129	189,726
府支出金	168,269	168,036	172,322
市債	0	0	0
受益者負担	305,985	318,822	340,861
その他	0	0	0
一般財源	268,242	291,964	348,610

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	—	
事務事業の実績	<p>毎年1月31日時点の「入室資格を有するすべての申込者」の受け入れを行っており、これまでと同様1月末までの申込者について100%受け入れた。 児童会室のあり方については、土曜日を含め児童にとってより豊かで充実した放課後活動を実現すべく検討を行った。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<p>留守家庭児童会室の利用ニーズが急増する一方、運営に必要な職員の確保や、施設の老朽化への対応が課題となる中、放課後子ども教室の本格実施を見据え、さらなる民間活力の活用に取り組むとともに、学校の余裕教室の活用や、良好な学習環境と放課後の保育環境を併せ持つ環境整備に取り組む。</p>	

事務事業実績測定調書

10315020030	留守家庭児童会室整備事業			
測定年度	2019 (R1) 年度	20000350	学校教育部放課後子ども課	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち		
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち		
	取り組みの方向	50.保護者のさまざまなニーズに応じて、子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくりを進めます。		
	実行計画事業名	放課後児童対策事業(留守家庭児童会室の建て替え)		
総合計画体系②	基本目標			
	施策目標			
	取り組みの方向			
	実行計画事業名			

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1966 (S41) 年度		～		
根拠法令等	枚方市立留守家庭児童会室条例、枚方市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	入室を希望する児童が全て入室でき、安全・安心かつ快適に生活できる状態				
事業概要	建築後年数の経過している留守家庭児童会室の建替え等を行い、児童の安全性と快適性を確保することを目的として、計画的に留守家庭児童会室施設の建替え及び学校施設の活用による整備を行う。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	保護者・入室児童の満足度					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	100	100	100		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	2.00	1.25	0.35
正職員数	2.00	1.25	0.35
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	15,748	9,939	2,806
正職員人件費(換算額)	15,748	9,939	2,806
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	163,291	59,376	85,631
■事務事業の総計(千円)	179,039	69,315	88,437
国庫支出金	53,400	7,083	10,625
府支出金	28,967	7,082	10,624
市債	40,200	8,400	10,300
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	56,472	46,750	56,888

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	—	
事務事業の実績	<p>香陽留守家庭児童会室の建替え工事が、令和元年7月に完了した。 山田留守家庭児童会室について、学校教室を良好な学習環境と放課後の保育環境を備えたハイブリット教室へ整備し、令和2年4月より児童会室として供用を開始した。</p>	
今後の方向性	休止・終了	
具体的な 今後の取組方策	<p>今後の留守家庭児童会室の整備は、建替え等を実施する方向性ではなく、学校の余裕教室の活用とともに、良好な学習環境と放課後の保育環境を併せ持つ校舍整備に取り組む。</p>	

事務事業実績測定調査

10315040001	枚方子どもいきいき広場補助事業		
測定年度	2019(R1)年度	20000350	学校教育部放課後子ども課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち	
	取り組みの方向	52.子育てに対する相談体制の充実を図るとともに、子育て世帯が交流できる場を確保するなど、地域の子育て支援を進めます。	
	実行計画事業名	枚方子どもいきいき広場事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2010(H22)年度		～		
根拠法令等	枚方子どもいきいき広場事業補助金交付要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方市全小学校区に住む児童に対し、地域の特色や多様性をいかしたプログラムを提供することで、児童の健全な育成を図る場所がある状態。				
事業概要	土曜日の学校休業日を基本に、地域団体やNPO等により、各校区の小学1年生～6年生を対象に、スポーツや英語のほか、体験学習や昔遊びなど、地域の特色や多様性をいかしたプログラムを実施する。市においては、活動実績等に応じた補助金を交付するとともに、運営にあたってのアドバイス等の支援を行っている。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	参加した子どもにおける事業の満足度 【算出式: 満足度の高いアンケート回答者数/アンケート回答者数】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	85	90	95		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	1.70	1.80	1.12
正職員数	0.70	0.80	0.12
非正規職員数(計)	1.00	1.00	1.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	1.00	1.00	1.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	7,912	8,761	3,362
正職員人件費(換算額)	5,512	6,361	962
非正規職員人件費(計)	2,400	2,400	2,400
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	2,400	2,400	2,400
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	32,118	30,757	28,098
■事務事業の総計(千円)	40,030	39,518	31,460
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	40,030	39,518	31,460

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	—	
事務事業の実績	<p>市内45小学校区全てにおいて、「子どもいきいき広場」が実施され、補助金(基準額補助金、活動実績加算金、障害のある児童サポーター加算金)交付による支援のほか、専門アドバイザーの巡回による相談支援等を行った。実施日数は12日～48日の間で各校区で設定(平均29.3日)されたが、令和元年10月に発生した台風や令和2年3月の新型コロナウイルス感染症防止対策の影響で、実施予定数1446回の内、1,317回の実施となった。また、延べ参加児童数は49,872人で、1回あたりの平均児童数は約37.8名であり平成30年度に比べ微増となった。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<p>団体間で講師やプログラム案の情報交換の場を提供するなど、活動内容の充実や参加者増加に向けた取り組みを行う。令和3年度以降いきいき広場を含む放課後事業の放課後事業の効果的・効率的な運営を図るため、可能な範囲での融合を図り、総合的な運営を行なう放課後キッズクラブとして取り組みを進める。</p>	

事務事業実績測定調査

10316030026	児童の放課後対策事業		
測定年度	2019(R1)年度	20000350	学校教育部放課後子ども課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	
	取り組みの方向	58.学校・家庭・地域が連携しながら、子どもの社会性や思いやりの心など、豊かな人間性を育むとともに、健やかな身体を育成する取り組みを進めます。	
	実行計画事業名	全児童を対象とする放課後対策事業(放課後子ども教室事業)	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2017(H29)年度		～		
根拠法令等	社会教育法、児童福祉法、次世代育成支援対策推進法、子ども・子育て支援法、枚方市附属機関条例				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	全ての就学児童が、放課後や土・日曜日、三季休業期間中に、安全・安心な学校敷地内で、1年を通して仲間とともに自由に自主的に遊べる環境が整備されるとともに、小1の壁が打破された状態。				
事業概要	<p>全ての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、国は平成30年9月に「放課後子ども総合プラン」に続く「新・放課後子ども総合プラン」を策定し、放課後児童クラブ(本市の「留守家庭児童会室」に相当)及び全児童を対象とする放課後子供教室(本市の「放課後子ども教室」及び「放課後自習教室」)の両事業を小学校の敷地内で実施する、一体型を中心とした計画的な整備等を進めることを求めている。</p> <p>本市の実情に即した児童の放課後対策を進めていくため、市立小学校4校で放課後子ども教室モデル事業を実施し、その検証結果と児童の放課後対策審議会の意見や本市の財政状況等も踏まえながら、留守家庭児童会室と放課後子ども教室の一体的な運営を核とし、放課後自習教室や枚方子どもいきいき広場とも連携・協働する総合的な放課後対策に向けた取組を順次進める。</p> <p>児童の放課後対策審議会委員は、学識経験を有する者、社会教育に関する専門的知識を有する者、児童福祉に関する専門的知識を有する者、並びに市民団体または関係団体を代表する者の中から、教育委員会が委嘱する(11人以内)。任期は2年間。</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	放課後キッズクラブの核となる、留守家庭児童会室と放課後子ども教室の総合的な運営事業に参加した児童と保護者の満足度					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	—	80	80		
実績	—	—	—	—		

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.55	1.64	1.51
正職員数	0.55	1.54	1.44
非正規職員数(計)	0.00	0.10	0.07
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.10	0.07
■人件費総額(千円)	4,331	12,445	11,581
正職員人件費(換算額)	4,331	12,245	11,544
非正規職員人件費(計)	0	200	37
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	200	37
■直接経費(千円)	1,512	11,534	4,328
■事務事業の総計(千円)	5,843	23,979	15,909
国庫支出金	0	1,744	647
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	5,843	22,235	15,262

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	平成30年度に実施を予定していたモデル事業の一部が、台風21号の影響により中止になり十分な検証ができなかったことから、昨年度と同様のモデル事業実施校4小学校において、夏季休業期間中にモデル事業を実施した。児童の放課後対策審議会からの答申を受け、児童の放課後を豊かにする基本計画を策定した。	
今後の方向性	拡充・重点化	
具体的な 今後の取組方策	放課後自習教室と合わせて、児童の放課後対策のさらなる充実をはかるため、放課後子ども教室モデル事業の実施結果やモデル事業参加者及びその保護者ニーズ、留守家庭児童会室に入室している児童の保護者のニーズ及び本市の財政状況を踏まえ、留守家庭児童会室、放課後子ども教室、放課後自習教室、枚方子どもいきいき広場事業をそれぞれ総合的に運営していく連携方策について検討しながら、全市立小学校での事業実施に向けて、順次取り組みを進める。	

事務事業実績測定調書

10999990092	放課後子ども課運営事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	20000350	学校教育部放課後子ども課
総合計画体系	基本目標	9: 施策体系外	
	施策目標	99: 施策体系外	
	取り組みの方向	99: 施策体系外	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	2012 (H24) 年度		~		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	風通しの良い、コミュニケーションが活発な組織				
事業概要	課の運営事務				

2. 指標推移

指標種類	指標設定なし				
指標の説明	—				
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位
目標(予測)	—	—	—	—	
実績	—	—	—	—	

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	4.34	3.40	3.27
正職員数	1.00	1.00	1.08
非正規職員数(計)	3.34	2.40	2.19
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	1.00	0.00	0.00
非常勤職員数	1.00	1.00	0.00
臨時職員数	1.34	1.40	2.19
■人件費総額(千円)	16,774	13,442	11,397
正職員人件費(換算額)	7,874	7,951	8,658
非正規職員人件費(計)	8,900	5,491	2,739
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	4,005	0	0
非常勤職員人件費(実額)	2,400	2,875	0
臨時職員人件費(実額)	2,495	2,616	2,739
■直接経費(千円)	251	232	163
■事務事業の総計(千円)	17,025	13,674	11,560
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	17,025	13,674	11,560

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	放課後子ども課の運営を適切に行った。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き適正な事務執行に取り組む。	